

これからの社会に求められる共生ロボットの可能性 ～ロボット共生カフェプロジェクト～



京都府では、2019年に「けいはんなロボット技術センター」を開設し、ロボット等の開発・実証が650件以上にのぼり、最近では、社会実装ステージに差し掛かる企業が増え、さらには、メタバースの融合モデルが生まれてきています。

2022年からは、ロボットとメタバースの技術などを活用した「ロボット共生カフェプロジェクト」を開始し、障がいをお持ちの方など「人」と「ロボット」が共生して働く場づくりを目指して取り組んでいます。今回は、「ロボット共生カフェプロジェクト」の一環としてセミナーを開催し、実際の社会実装ステージで起こる課題や可能性について共有します。

セミナー開催

社会実装の課題について

参加費
無料

- 日時 2023年3月10日（金）14:00～16:50
- 会場 けいはんなロボット技術センター（KICK）
オンライン同時開催
- 参加者 ロボット関連技術の研究・開発に取り組む企業、研究機関等
ロボットの導入に関係のある企業・施設関係者 定員：30名程度

1 ロボット共生カフェプロジェクトとは
京都府ものづくり振興課 課長 足利 健淳

2 現実-仮想空間におけるロボット技術の可能性

- ・「バーチャル空間カフェでのロボット遠隔接客の可能性」
（株）ハタプロ 代表取締役 伊澤 諒太
（株）Keigan 代表取締役 徳田 貴司

- ・「ロボットを通じたリアル体験によるメタバースSteam教育」
（株）Halle Game Lab 代表取締役 坂井 冬樹
（一社）ゆずタウン 代表理事 水瀬ゆず／岡村 謙一

水瀬ゆず氏：水瀬ゆず@メタバースの街を創ろう今 (@yuzunose) さん / Twitter

- ・「仮想空間を用いたロボット導入シミュレーションによる現場効率化」
新エフエイコム（株） 角淵 弘一

3 フリーディスカッション

お申込み方法

URL・QRコードからお申込みください

<https://www.ki21.jp/entries/view/index.php?id=151077>

申込締切：2023年3月8日(水)



一次世代ロボット等の開発・実証のため、中小企業・ベンチャー・研究機関等が共同利用できる拠点

屋内大空間に研究開発用ロボットや測位機器等を備え、ロボットの自律システム、人とロボット、ロボットどうしの協調システムをはじめ、暮らしや生産性の向上に資する様々な次世代ロボット技術の開発、導入を支援します。〈けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK) 1F〉

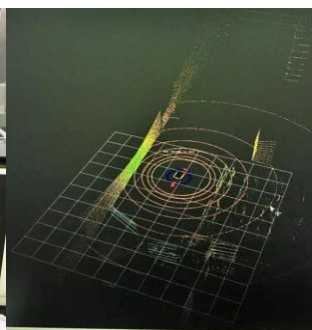
床面積1,500平方メートル、天井高5mの大空間、5G基地局整備
一貸出・持込ロボット等を走飛行させながら、その場で開発・実証可！

高精度モーションキャプチャ、ヘッドマウントディスプレイ等を装備
一開発中のロボットの測位・動作検証、CG・VR等の製作等に！



研究開発用ROS対応走行ロボット、ドローン等を装備 一自律ロボットシステム、人とロボットの協調システム等の開発・実証等に！

活用事例



自律移動ロボット開発

モーションキャプチャーによる測位



ロボコン出場に向けた練習

ドローンレースやゲームジャムの開催



各種勉強会の開催

詳細はホームページをご覧ください

<http://www.pref.kyoto.jp/sangyo-sien/robotcenterkyoto.html>

